

新使徒教会の自己理解について



教会員が簡潔な言葉で、新使徒教会とその信仰の本質的要素を他の宗派の方々に説明するのに役立つような自己像を明確に表明しておく事は、教会の指導者にとって大切な事と思われます。この自己理解像は大衆に利用されるためにも、世界的に通用する一定の声明の根拠を提供するものです。

新使徒教会の自己理解像

現代において、イエス・キリストが備えていて下さった救いに至る道

1. 新使徒教会は現存の使徒を通して、イエス・キリストに導かれています。その教理は聖書に基づいております。
2. 使徒職は救いを伝えるべく、イエス・キリストによって権限を受けた聖職です。
3. 使徒は、主が約束された再臨に備えて、主の教会を整えるのに不可欠です。
4. 新使徒教会は三つのサクラメント（聖礼典）を認めています。即ち、聖なる水の洗礼、聖なる証印と聖餐。
5. 聖なる証印と聖餐、罪の赦しは、使徒職と不可分のものです。
6. 新使徒教会のクリスチャンは、聖なる証印によって、聖霊の賜物を戴いております。
7. 聖書が証しているイエス・キリストが、新使徒教会のクリスチャンの信仰生活の中心をなします。主はこんにちも御自分の教会で働いておられ、しかも、再び帰って来られます。新使徒教会のクリスチャンの信仰の目標は、主がお帰りになる時に、キリストと結ばれる事です。

2007年 10月 15日

チューリッヒにて